



優秀賞

(総合部門)

タイトル 農作業小屋の再生—夏と冬の土間をもつ住まい

タイプ 持家一戸建

講評

耐震格子柵と一体になった階段、及び吹抜けによって空間が激変している。白色OP拭取りによるOSB壁も既存土壁と程よいコントラストを生むなど、モダンで開放的なインテリアに仕立て直したデザイン手腕が見事。

リフォーム前後の写真



①



②



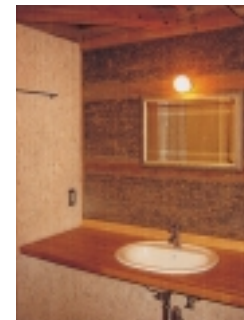
③



④



⑤



⑥



⑧



⑦

リフォームの動機 / 設計・施工の工夫点 / 施主の感想 など			
《動機》		心とした部分を「冬の土間」と名付け、仲間の集える居間とした。	
・コンピュータ関連の仕事をしているご主人は、都会の喧噪を離れ土と植物との素朴な田舎生活を、藁葺き屋根が残るこの土地に求めた。		・2階は天井を撤去して、松梁の小屋組と新規の白いOSBの壁を対比させ、洗面所に土壁の質感を残した。	
《工夫》		・耐震壁の不足、基礎・2階梁の補強に、柱梁の増設、接合金物の使用に加え、平土間及び「階段付格子壁」を増設。オブジェとして空間にリズム感を与えた。	
・藁葺き屋根の母屋は相当手直しがいることから長期に構え、初めに農作業小屋であった建物を生活の拠点にリフォームすることにした。		《施主より》	
・外構と家とのおらかなつながりを活かし、光と吹抜で天井の低い1階奥の空間の閉塞感を払拭した。		・土仕事の後、庭で育てたハーブの風呂に入り土間で夕陽とビール、家と共に至福の時間を過ごしている。	
・外構と程よくつながる下屋部分を「夏の土間」、新ストープを中			
特に配慮した住宅性能など：耐震補強 省エネルギー バリアフリー 住む人の健康 その他（ ）			
データ			
所在地	千葉県山武郡	構造 / 築後年数	在来木 造 / 40 年
該当工事面積	145 m ²	該当部分工事費	1,700 万円
居住者構成	2 人 (大人 15歳以上)	2 人 子供	人) ベット
設計者	相越直子建築設計室	担当者	相越 直子
施工者	(有)成梁	担当者	宮崎 政司

